

平成 30 年度 事業 報告 書



「やさしさ」を抱きしめよう

社会福祉法人西予市社会福祉協議会

目 次

・平成 30 年度 西予市社会福祉協議会 事業報告	1
・平成 30 年度 事業報告項目	
本所（含む野村業務）	18
明浜支所	24
宇和支所	26
城川支所	31
三瓶支所	34
・平成 30 年度 西予市地域包括支援センター 事業報告	37

平成 30 年度 西予市社会福祉協議会 事業報告

I 総括

急速な少子高齢化、生活様式の多様化に伴って地域社会や家庭の様相は大きく変容し、ひきこもり等の社会的孤立、貧困、差別や虐待といった権利擁護の問題等、地域には非常に多くの生活課題が山積みしており、また、2025年問題を控え、「我が事・丸ごと」の地域包括ケアシステムの構築が急務となっている。

このような状況の中、平成 30 年度においては、「地域福祉活動計画」の策定及び、新たに市から受託した「生活支援体制整備事業」を主として、地域福祉事業を展開していたが、7月に発生した豪雨災害において、西予市はかつてない甚大な被害を受け、多くの住民が被災し避難生活を余儀なくされた。

この豪雨災害では、本会は市からの要請を受け「災害救援ボランティアセンター」を7月11日に設置し、職員が一丸となって、9月30日までの間、延べ7,356名のボランティアの協力のもと、復旧・復興のため、「災害救援ボランティアセンター」の運営に取り組んできた。また、10月以降は、市から「地域ささえあいセンター事業」の受託を受け、臨時職員等を新たに5名採用し、応急仮設住宅やみなし仮設住宅及び在宅等の被災された住民の支援として、生活再建に向けた、総合相談や見守り活動、コミュニティづくり等を行政や様々な支援団体と連携協力しながら現在も引き続き活動を行っている。

なお、この間、本会としての通常活動が十分できず、やむを得ず事業の中断や変更を余儀なくされた。特に、平成 31 年度からの実施に向け、行政及び各関係機関と協働で取り組んでいた「地域福祉活動計画」の策定については、行政が策定する「地域福祉計画」の延期もあり、令和 2 年度実施に向け計画の変更を行った。また、市からの受託事業についても実施できなかった期間があり、受託金の見直し等の影響も出たところである。

一方、介護サービス事業においては、訪問介護事業において「特定事業所加算事業所」として指定を受けたこともあり、外部・内部の研修等を充実し、職員の資質向上と意識改革に努めた。しかしながら、介護報酬については、身体介護等の利用者が大幅に減ってきている等の影響もあり、期待通りの実績には至らず、厳しい経営状況となっているが、引き続き、利用者個々のニーズに応じた質の高い介護サービス等の提供を行うとともに、介護報酬の増及び経費の削減等を図り、安定した介護保険事業経営に努める。

II 重点項目

- i 市社協運営体制の整備と基盤強化
- ii 地域福祉推進力の強化
- iii 福祉利用者支援の強化
- iv 福祉人材の強化
- V 地域包括支援の強化

Ⅲ 事業の実施状況

【1】法人運営の基盤となる市社協運営体制の整備と基盤強化

1 市社協運営体制の整備と基盤強化

(1) 理事会

《第1回》

期 日 平成30年6月6日（水）

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事11人中11人出席 監事2人中2人出席

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第1号	理事の交代について
報告第2号	専決処分第1号について（平成29年度）

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	平成29年度事業報告について
議案第2号	平成29年度収支決算について
議案第3号	社会福祉充実計画の終了について
議案第4号	平成30年度第1次資金収支補正予算について
議案第5号	評議員補欠候補者の推薦について
議案第6号	評議員選任・解任委員会招集について
議案第7号	定時評議員会の開催について

《第2回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

平成30年7月5日（木）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

理事からの同意 11人

監事からの確認 2人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第8号	西予市社会福祉協議会理事の辞任について
議案第9号	西予市社会福祉協議会理事候補者の選定について

《第3回》

期 日 平成30年10月10日（水）

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室
 出席人数 理事 11 人中 10 人出席 監事 2 人中 2 人出席
 案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 3 号	理事の交代について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 10 号	平成 30 年度変更事業計画について
議案第 11 号	経理規程の一部を改正する規程制定について
議案第 12 号	平成 30 年度第 2 次資金収支補正予算について
議案第 13 号	第 3 回評議員会の開催について

《第 4 回》

理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

平成 30 年 11 月 1 日 (木)

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

理事からの同意 11 人

監事からの確認 2 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 14 号	西予市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の辞任について
議案第 15 号	西予市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員選任の承認について

《第 5 回》

期 日 平成 31 年 2 月 6 日 (水)

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 8 人出席 監事 2 人中 2 人出席

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 16 号	継続雇用職員就業規則の制定について
議案第 17 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第 18 号	就業規則の一部を改正する規則制定について

議案第 19 号	嘱託職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 20 号	臨時職員就業規則の一部を改正する規則制定について

《第 6 回》

期 日 平成 31 年 3 月 18 日 (月)
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室
 出席人数 理事 11 人中 10 人出席 監事 2 人中 2 人出席
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 21 号	理事の辞任について
議案第 22 号	役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 23 号	就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 24 号	非常勤職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 25 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第 26 号	経理規程の一部を改正する規程制定について
議案第 27 号	旅費規程の一部を改正する規程制定について
議案第 28 号	庶務規程の一部を改正する規程制定について
議案第 29 号	裁判員休暇規程の一部を改正する規程制定について
議案第 30 号	妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 31 号	パワーハラスメントの防止に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 32 号	西予市地域包括支援センター運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 33 号	指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 34 号	西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号訪問事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 35 号	障害者総合支援法に基づく運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 36 号	指定訪問入浴介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 37 号	平成 30 年度第 3 次資金収支補正予算について
議案第 38 号	平成 31 年度事業計画について
議案第 39 号	平成 31 年度資金収支予算について
議案第 40 号	第 4 回評議員会の開催について

(2) 評議員会

《第 1 回：定時評議員会》

期 日 平成 30 年 6 月 22 日 (金)
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員 21 人中 16 人出席 監事 2 人中 2 人出席
 出席理事 会長、副会長、常務理事
 案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 1 号	専決処分第 1 号について（平成 29 年度）

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 1 号	平成 29 年度事業報告について
議案第 2 号	平成 29 年度収支決算について
議案第 3 号	社会福祉充実計画の終了について
議案第 4 号	平成 30 年度第 1 次資金収支補正予算について

《第 2 回》

□ 評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

平成 30 年 9 月 21 日（金）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

評議員からの同意 21 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 5 号	西予市社会福祉協議会理事の解任及び選任について

《第 3 回》

期 日 平成 30 年 10 月 22 日（月）

場 所 西予市教育保健センター 2 階「集団指導室」

出席人数 評議員 21 人中 18 人出席

出席理事 会長、副会長、常務理事

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 2 号	評議員の交代について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 6 号	平成 30 年度変更事業計画について
議案第 7 号	平成 30 年度第 2 次資金収支補正予算について

《第 4 回》

期 日 平成 31 年 3 月 26 日 (火)
場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室
出席人数 評議員 21 人中 21 人出席
出席理事 会長、副会長、常務理事
案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 8 号	理事の解任について
議案第 9 号	役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 10 号	平成 30 年度第 3 次資金収支補正予算について
議案第 11 号	平成 31 年度事業計画について
議案第 12 号	平成 31 年度資金収支予算について

(3) 監査会

期 日 平成 30 年 5 月 25 日 (金)
場 所 西予市社会福祉協議会・本所 機能訓練室
出席監事 奥野柳之介、井上尚喜
監査事項 業務監査

- ① 定款
- ② 役員等について
- ③ 理事会及び評議員会について
- ④ 規則・規程の整備について
- ⑤ 人事・労務管理について

会計監査

- ① 会計処理・契約について
- ② 事業計画・予算について
- ③ 寄付金について
- ④ 事業報告・収支決算について

(4) 監事による現地調査

① 明浜支所、三瓶支所

期 日 平成 30 年 12 月 11 日 (火)
実施場所 西予市社会福祉協議会・明浜支所
三瓶支所
出席監事 奥野柳之介、井上尚喜
調査事項 明浜支所及び三瓶支所の実施事業他

② 宇和支所

期 日 平成 30 年 12 月 20 日 (木)

実施場所 西予市社会福祉協議会・宇和支所
 出席監事 奥野柳之介、井上尚喜
 調査事項 宇和支所の実施事業他

(5) 評議員選任・解任委員会

期 日 平成 30 年 6 月 26 日 (火)

実施場所 西予市社会福祉協議会・本所 機能訓練室

出席人数 評議員選任・解任委員 5 名中 5 名出席

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 1 号	評議員の補欠選任について

(6) 業務執行会議

法人運営と事業推進を効果的に進めるため、年間 9 回管理職等による業務執行会議を開催し協議を行った。

【構成 (15 名)】

事務局長、総務福祉課長、地域福祉課長心得、支所長、支所長補佐、センター長、センター次長 (2)、係長、総括サ責、居宅管理者 (2) 訪問介護管理者 (2)、訪問入浴管理者

(7) 関係機関・団体との連携強化

① 民生児童委員協議会及び関係機関・団体等との連携強化

民生児童委員協議会の定例会等に参加するとともに、老人クラブをはじめ、各福祉団体等の事業に協力して連携を強化した。

特に、地域福祉推進の担い手としての役割を持つ民生児童委員協議会には、給食サービス、ふれあい・いきいきサロン、安心カード見守り支援事業等の地域福祉事業についての協力を受け、協働で推進を行った。

② 社会福祉法人連絡会議の開催

社会福祉法に規定された「地域における公益的な取組」を、西予市内の社会福祉法人が連携・協働し、一体的に取り組むことで、多様化・深刻化する地域の生活課題等に対応することなどを目的とした、「西予市社会福祉法人連絡会議設置要綱」を定め、連絡会議を開催した。

【参加法人】

- ・ 西予総合福祉会
- ・ 西予市野城総合福祉協会
- ・ ひまわり育成会
- ・ 三瓶福祉会
- ・ 西予市社会福祉協議会

《第1回》

期 日 平成30年12月6日(木)

場 所 野城ふれあい館ホール

日 程 (1) 講演

「社会福祉法人として平常時の災害予防活動を考える」

講 師：愛媛県立医療技術大学

客員教授 宮内 清子 氏

(2) 各法人からの話題提供と意見交換

(8) 会員制会費の推進

社会福祉協議会の経営基盤となる会員制会費を推進し、広く市民のご協力をいただいた。

① 募集期間 平成30年7月～8月

② 会員 一般会員：500円以上
特別会員：2,000円以上

③ 実績

地 区	一般会員	特別会員	金 額 (円)
本所 (野村)	2,146	0	1,073,000
明 浜	1,165	0	593,800
宇 和	4,705	85	2,559,800
城 川	1,135	0	567,500
三 瓶	2,781	9	1,415,500
合 計	11,932	94	6,209,600

(9) 諸規程の整備

県社協が実施する「アドバイザー(専門家)派遣事業」を活用し、主に継続職員の就業規則等について、社会保険労務士との協議のうえ見直しを行った。

協議回数：3回

2 広報活動の充実強化

(1) 社協だより「おあしす」を発行し、広く市民に社会福祉協議会活動の周知を図った。(発行回数5回)

(2) 本所だより及び支所だよりを発行し、地域に根付いた広報活動をおこなった。

(3) 社協のホームページを活用し、現況報告書・計算関係書類等の公表及び、社協・地域包括支援センターの活動、共同募金事業等の情報について、常

に情報を発信した。

また、「災害救援ボランティアセンター」運営時には、フェイスブックを活用し、ボランティアの受入れ等についての詳細な情報をリアルタイムに発信することに努めた。

3 西予市まごころ銀行の運営と寄付金活用事業の推進

(1) まごころ銀行の有効活用事業の実施

ふれあい・いきいきサロン事業、給食サービス事業等の事業費として有効活用に努めるとともに、サロン研修等にて使用するマイクロバスの購入及び豪雨災害により被災した車輛（9台）の整備に活用した。

(2) まごころ銀行の預託実績

社会福祉協議会活動の貴重な財源として、本所及び各支所にまごころ銀行を設置し、市民の皆様からの善意をいただいた。

特に、野村地区においては、豪雨災害への支援として大口の預託をいただいた。

(単位：円)

地 区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
預 託 額	6,975,167	113,000	1,562,061	2,460,000	529,372	11,639,600

(3) まごころ銀行運営委員会

行政、議会、地域福祉、自治会、地区選出等関係者9人の委員による「まごころ銀行運営委員会」を開催し、まごころ銀行の事業内容及び予算・決算、その他について意見を求めた。

《第1回》

期 日 平成30年5月31日(木)

場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2階会議室

出席人数 委員9人中9人出席

審 議

- (1) 委員長の選任について
- (2) 平成29年度「まごころ銀行」収支決算について
- (3) 平成30年度補正予算について
- (4) その他

《第2回》

期 日 平成31年3月8日(金)

場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2階会議室

出席人数 委員9人中7人出席

報 告

- (1) 平成30年4月～平成31年2月「まごころ銀行預託金」の

状況について

審 議

- (1) 平成 30 年度「まごころ銀行」活用に係る補正について
- (2) 平成 31 年度「愛媛県南予地区里親会」に対する活動助成金の審査について
- (3) 平成 31 年度「まごころ銀行」事業・予算について

4 各種募金等運動への協力・推進

(1) 日本赤十字社社員増強運動に伴う社資募集の協力

- ① 募集期間 平成 30 年 5 月～6 月
- ② 実績 (円)

地 区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
金 額	1,273,510	583,800	2,179,086	564,003	1,222,100	5,822,499

(2) 共同募金運動

- ① 募集期間 平成 30 年 10 月～12 月
- ② 実績 (円)

地 区	本 所 (野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	小 計	県本会受 付按分額	合 計
金 額	1,629,662	820,690	4,209,494	930,089	1,491,400	9,081,335	400,341	9,481,676

※「県本会受付按分額」は愛媛県共同募金会受付分を人口・世帯の指標を元に 20 の市町に按分した額

(3) 歳末たすけあい運動

- ① 募集期間 平成 30 年 11 月～12 月
- ② 実績 (円)

地 区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
金 額	624,300	54,000	1,370,476	332,700	982,014	3,363,490

5 災害支援に係る助成金事業等の活用

(1) 共同募金「豪雨災害による災害準備金」：3,919,915 円

(用途) ボランティア活動保険、ボランティア送迎等燃料費、ボランティア活動用消耗品費、電話等通信運搬費、ミーティングテーブル等器具備品取得費

(2) 大和証券福祉財団「災害時ボランティア活動助成」：350,000 円

(用途) 発電機等取得費、ボランティア活動用消耗品費

(3) 「愛媛県中小企業グループ補助金」：1,403,000 円 (H30 年度確定分)

(用途) 被災車両の整備費用 (2 台：2,291,580 円) の一部

- (4) 「愛媛県高齢者福祉施設等設備災害復旧費補助金」：4,972,000 円
「愛媛県障がい児（者）福祉施設等設備災害復旧費補助金」：458,000 円
(用途) 被災車両の整備費用（7台：8,020,530円）の一部
居宅介護支援事業（3台）
訪問介護事業（4台）

(5) 2018年「24時間テレビ」：福祉サポート車両1台（軽乗用車）

(6) 生命保険協会「生命保険ふれあい募金」：福祉巡回車1台（軽自動車）

(7) スズキ株式会社：軽トラック1台

【2】住民参加の地域福祉推進力の強化

1 ふれあい・いきいきサロンの推進

ひとり暮らしの高齢者等と地域住民（ボランティア等）が、自宅から歩いていける場所（集会所等）に気軽に集い、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げたり、地域の健康づくり（介護予防）の拠点として機能する活動を推進した。

- (1) サロン研修交流会の開催
- | | |
|------|---------|
| 野村地区 | 参加者 82人 |
| 明浜地区 | 参加者 43人 |
| 宇和地区 | 参加者 58人 |
| 城川地区 | 参加者 29人 |

- (2) 各サロンへの助成
- | | | |
|----|-------|------------|
| 野村 | 59サロン | 1,190,000円 |
| 明浜 | 8サロン | 160,000円 |
| 宇和 | 38サロン | 780,000円 |
| 城川 | 11サロン | 220,000円 |
| 三瓶 | 13サロン | 260,000円 |

2 地域福祉活動計画策定への取組み

- (1) 策定委員会の開催：1回 ※ 第1層協議体の開催と兼ねる
(協議内容)
・策定スケジュールの変更について

(2) 住民座談会への取組み

旧小学校区単位の座談会に向け、各まちづくり組織、自治会、地区社協（宇和地区）、公民館等と連携して開催。

※7月豪雨災害への対応のため未実施

3 生活支援体制整備事業（受託事業）の推進

- (1) 生活支援コーディネーターの配置

第1層コーディネーターの配置 1名（市全域）

第2層コーディネーターの配置 4名（旧町域）

※1名は市全域コーディネーターと兼務

(2) 「支え合い推進会議」（協議体）の設置

- ・ 第1層協議体の設置（市全域）
- ・ 第1層協議体開催：平成31年1月30日（水）

(3) 地域支援の担い手の養成及び住民主体による活動の支援

サポーター連絡会 3回

サポーター・フォローアップ研修会 5回

(4) 支え合いの地域づくり研修会（2回）

- ・ 第1回 宇和地区 参加者：57人
- ・ 第2回 城川地区 参加者：44人

(5) 生活支援コーディネーター研修会

日程：平成30年12月13日（木）

参加者：南予地区広域 48人参加

(6) 先進地視察研修：平成31年2月18日（月）～19日（火）

研修先：香川県社協、徳島県那賀町

4 地域ささえあいセンター事業（受託事業）の推進

平成30年7月の豪雨災害で被災された市民が、安心した日常生活を取り戻し生活再建ができるよう、見守りや生活支援、地域交流の促進等の総合的な支援を行うことを目的として平成30年10月より事業を開始した。

(1) 西予市地域ささえあいセンターの設置

- ・ 本所（野村・城川）
- ・ 宇和サテライト（宇和・明浜・三瓶）

(2) 各種会議の開催

- ① 運営委員会の開催 5回（社協内部：11月から毎月）
- ② 連携会議の開催 5回（行政、社協、NPO等：11月から毎月）
- ③ ケース会議の開催 4回（困難事例関係者：必要に応じて開催）

(3) 研修会の開催

- ① 第1回：平成30年10月2日（火）
 - ・ 「中長期的な課題と地域ささえあいセンターの役割」
 - ・ 「災害支援制度について」
 - ・ 模擬事例検討 ほか

- ② 第2回：平成30年11月1日（木）
 - ・「地域ささえあいセンターの役割」
 - ・「復興期における課題」
 - ・個別訪問活動のポイント ほか
- ③ 第3回：平成30年12月20日（木）
 - ・模擬事例検討
 - ・「個人情報の保護と緊急時の対応」 ほか

(4) 愛媛県地域支えあいセンター会議・研修会の参加

① 連絡会議：3回

回数	日程	会場	出席者
第1回	9月25日	西予市教育保健センター	センター長、副センター長 コーディネーター
第2回	1月22日	大洲市総合福祉センター	センター長、副センター長
第3回	3月14日	西予市宇和文化会館	センター長、副センター長 コーディネーター、アドバイザー

※第3回は、関係団体連絡会議と合同開催

※メンバー：4市センター、県センター、アドバイザー等

② 関係団体連絡会議：2回

回数	日程	会場	出席者
第1回	12月4日	大洲市平公民館	センター長、副センター長 コーディネーター
第2回	3月14日	西予市宇和文化会館	センター長、副センター長 コーディネーター、アドバイザー

※メンバー：県行政、4市行政、4市センター、県センター、関係団体（県社会福祉士会・県相談支援協会・えひめリソースセンター・JVOAD等）、アドバイザー等

③ 担い手養成研修：5回（対象：4市センター、20市町行政・社協等）

回数	日程	会場	出席者
第1回	8月29日	西予市教育保健センター	常務理事他7名
第2回	10月30日	西予市宇和文化会館	センター長他12名
第3回	1月22日	大洲市総合福祉センター	センター長他10名
第4回	2月12日	宇和島市総合福祉センター	センター長他4名
第5回	2月13日	八幡浜市役所	生活支援相談員他7名

(5) 西予市地域ささえあいセンターだよりの発行：2回（1月、2月）

(6) 外部支援者との連携

西予会議 【出席者】：西予市、社協、市内NPO、外部支援者

【会議内容】：支援団体との連絡・調整・情報共有
計24回開催（平成31年3月末現在）

※平成30年度は毎週木曜日開催

平成31年度からは隔週木曜日開催

(7) 視察・研修等

① 先進地視察

日 程：平成 30 年 8 月 23 日（金）・24 日（土）

視察先：熊本市（行政が運営）

参加者：副センター長、コーディネーター

内 容：地域支え合いセンターでの説明
応急仮設住宅の視察

② 平成 30 年度生活支援相談活動管理者・担当者全国連絡会議の参加

日 時：平成 31 年 3 月 8 日（金）

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：センター長、副センター長、コーディネーター

内 容：【報告】生活支援相談活動の現状とこれからの支援
愛媛県代表で報告発表（副センター長）

【グループディスカッション】

生活支援相談活動の展開と今後の支援の展望

【3】良質な福祉サービス提供へ向けた事業の推進

1 在宅福祉サービスの推進

- ・ 居宅介護支援事業 本所、宇和支所
- ・ 訪問介護事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 訪問入浴介護事業 宇和支所（西予市を全域カバー）
- ・ 障害福祉サービス事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号訪問事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号通所事業 本所、城川支所

上記の事業所体制により介護サービス事業及び障害福祉サービス事業を推進した。

(1) 経営改善の一つの手段として「特定事業所加算事業所」としての指定受け、介護報酬の増に努めた。

(2) 「業務執行会議」の中で、経営状況及び課題の改善等について協議を行った。

(3) 介護知識・技術等の向上のため、積極的に各種研修等に参加した。

(4) 介護福祉士資格取得のための助成及び居宅介護支援専門員研修費の助成等を行い、職員の負担軽減を図るとともに、資質向上及び雇用の維持・確保に努めた。

2 法人後見事業の推進

(1) 法人後見受任体制整備

法律関係者 2 名、医療・福祉関係者 1 名、学識経験者 1 名、行政関係者 1 名からなる「法人後見運営委員会」を設置

(2) 法人後見受任者：0件（平成30年度）

3 福祉サービス利用援助事業の推進

愛媛県社会福祉協議会から福祉サービス利用援助事業を受託し、判断能力に不安のある方に対し、福祉サービスの適切な利用のため一連の援助を行った。

平成31年3月末日現在	利用者数	6人
	生活支援員（含む登録）	5人
平成30年度における相談件数	問い合わせ	7件
	初回相談	3件
	相談援助	1件

【4】生活支援・福祉等総合相談事業の推進、ボランティア活動への支援及び福祉人材養成・確保に関する事業の実施

1 福祉等総合相談事業の推進

(1) 法律相談（弁護士）

本所・各支所にて開催（年28回開催 相談件数：103件）

(2) 心配ごと相談（民生委員）

本所・各支所にて開催（年59回開催 相談件数：38件）

(3) 登記相談（司法書士）

宇和支所にて開催（年6回開催 相談件数：18件）

(4) 相談員研修会の開催（明浜支所：参加者18人）

2 生活支援の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業の推進（愛媛県社協からの受託事業）

本所・各支所にて貸付を推進した

年間相談件数：19件（内、貸付件数：8件）

(2) 小口資金貸付事業の推進

宇和支所にて生活困窮者に対し一時的な貸付を行った。（5件）

(3) 緊急食糧支援ネットワーク事業の推進（愛媛県社協からの受託事業）

生活困窮等により、食糧の確保が困難な者（世帯）に対して、緊急的に食糧の支給を実施（4件）

(4) 安心カードみまもり支援事業の推進

西予市民生児童員協議会の協力のもと、各地区において安心キットについての周知及び利用を推進した。

【対象者等】

- ・ 75歳以上の一人暮らし世帯
- ・ 75歳以上だけの世帯
- ・ 身体障害者等の手帳所持者
- ・ その他、地区民生児童委員協議会会長が適当と認める者

【利用実績】（平成31年3月末現在）

		明浜支所	宇和支所	城川支所	三瓶支所	本所	合計
独居世帯	利用世帯数	114	452	120	164	346	1,196
	利用者数	114	452	120	164	346	1,196
高齢者世帯	利用世帯数	38	191	44	35	127	435
	利用者数	76	383	85	70	253	867
障害者手帳所持者	利用世帯数	3	16	10	3	16	48
	利用者数	3	16	10	3	16	48
その他	利用世帯数	8	27	5	13	45	98
	利用者数	10	31	5	15	62	123
合計	利用世帯数	163	686	179	215	534	1,777
	利用者数	203	882	220	252	677	2,234

3 ボランティア活動への支援等

(1) ボランティア活動の推進

- ① ボランティア養成講座の開催（2講座、参加人数：計33人）
- ② ボランティア活動保険の加入促進（2,208人加入）

(2) 災害救援ボランティアセンターの設置・運営

平成30年7月7日に発生した豪雨災害により被害を受けられた住民生活を支援するため7月11日に社協本所に「西予市災害救援ボランティアセンター」を開設し、9月30日までの約3ヶ月間、住環境の復旧を中心とした災害ボランティア活動を行った。なお、ボランティアの依頼等については「地域ささえあいセンター」に引き継ぎ活動を行っている。

○ 設置日：7月11日（水）

開設時間：午前8時30分～午後5時（作業時間は午後3時まで）

受入範囲：制限を設けず（全国）

開所日数：67日

○ ニーズ調査：・被災者宅への戸別訪問（被災直後）

- ・ ボランティアを活用したチラシの配布（2回実施）
- ・ 被害地域の関係者との情報及び意見交換会の開催
- ・ 多職種連携による住民への聞き取り活動

○ ボランティア延べ数 7,466人（平成31年3月31日現在）
（内、306団体 3,118人含む）

※ 一日の最大受入数 1,081人（7月15日 日曜日）

○ 活動派遣先延べ数 1,184件（平成31年3月31日現在）

4 福祉人材養成・確保に関する事業の実施

(1) 高齢者に関する介護知識・技術等の普及・啓発

- ① 「在宅介護者の集い」を開催（参加者11人）
- ② 福祉教育の推進（小学校3回、中学校7回）

(2) 「介護福祉士資格取得支援事業」「介護支援専門員更新研修費助成事業」の実施

【5】介護用品販売事業

明浜支所において介護用品（紙オムツ）の販売を行った。

・ 年間利用者数 23人 販売回数 104回

以下、本所及び各支所の事業報告項目

拠点区分	サービス区分	事業名	
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○理事会の開催 (6回) ○評議員会の開催 (4回) ○監査会の開催 (1回) ○監事による現地調査 (3支所) ○評議員選任・解任委員会 (1回) ○業務執行会議の開催 (9回) ○市内社会福祉法人連絡会議 (1回) ○諸規程の見直し ○法人業務の運営 ○本所・各支所間の連絡調整 ○県社会福祉大会への参加 (150人)
	2. 支所法人運営事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○まごころ銀行運営委員会の開催 2回 ○活用事業 (9,621,565円) <ul style="list-style-type: none"> ・南予里親の会助成 30,000円 ・社協広報誌作成費 167,419円 ・社協ホームページ運営費 183,600円 ・職員募集チラシ 74,563円 ・地域福祉活動計画 6,240円 ・キントーン手数料 5,610円 ・福祉サービス利用援助事業 70,186円 ・マイクパス整備費 5,399,230円 ・軽乗用車整備 (9台) 3,618,350円 ・運営委員等旅費他 66,367円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○預託件数 135件 (金銭預託：133件、物品預託：2件) ○預託金額 6,975,167円 ○活用事業 (2,338,886円) <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生活支援事業 1,225,004円 ・家族介護支援事業 180,038円 ・給食サービス事業 933,844円
		本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○社協広報「おあしす」の発行 (年5回) ○社協ホームページ・フェイスブックの運用 ○地域福祉活動計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会の開催 1回 ・地域座談会 (災害支援のため中止)

拠点区分	サービス区分	事業名	
		野村業務	○野村だよりの発行（年 11 回）※7 月中止
	5. 地区社協育成事業		
	6. 高齢者生活支援事業	本所業務	○「せいよ寄り添い生活支援事業」の実施 ※災害支援のため中止
		野村業務	○ふれあい・いきいきサロン事業 ・高齢者サロン 59 箇所 ・サロン交流研修会の開催 1 回 82 人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績（3 月末現在） ・利用世帯数 534 世帯 ・利用者数 677 人 （内訳） □独居世帯（75 歳以上） ・利用世帯数 346 世帯 ・利用者数 346 人 □高齢者世帯（75 歳以上） ・利用世帯数 127 世帯 ・利用者数 253 人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 16 世帯 ・利用者数 16 人 □その他（必要と思われる方） ・利用世帯数 45 世帯 ・利用者数 62 人
	7. 家族介護支援事業	野村業務	○紙おむつ配布（社協独自） ・年 5 回（※7 月中止） 延べ 134 人 ○車いす貸与（短期間） 25 件
	8. 給食サービス事業	野村業務	○給食サービス ・年 11 回 延べ配食数 2,534 食 （7 月災害のため中止） ・ボランティア人数 181 人
	9. ボランティア活動 推進事業	野村業務	○ボランティア研修会 中止 ○ふれあい郵便 月 1 回：対象者数（平成 30 年度当初） 214 人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みチャレンジ☆ボランティア 中止 ○ボランティア保険加入促進 157人
	10. 生活支援体制整備事業	<p>本所業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーターの設置 (第1層) ○協議体の設置・運営 (第1層) ○ポイント制ボランティアの推進 <ul style="list-style-type: none"> 登録者 42人 連絡会 3回 (延べ26人参加) ○介護予防サポーター養成講座の支援 ○介護予防サポータースキルアップ研修・連絡会の開催 5回 ○生活支援コーディネーター研修会の開催 1回 (10市町より48名参加) ○支え合い地域づくり研修会の開催 2回 (宇和・城川) ○事業周知のチラシ配布(全戸) 1回
		<p>野村業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーターの設置(第2層) ○ポイント制ボランティアの推進
	11. 福祉等総合相談事業	<p>野村業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法律相談 年6回 相談件数 27件 ○心配ごと 年10回 相談件数 11件 (7・8月災害のため中止)
	12. 福祉サービス利用援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセンサー事業	<p>本所 (野村・城川エリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支援対象世帯数(平成31年3月末現在) <ul style="list-style-type: none"> 応急仮設 71世帯 みなし仮設 3世帯 在宅 372世帯 その他 22世帯 合計 468世帯 ○支援件数(10月～3月) <ul style="list-style-type: none"> 応急仮設 689件 みなし仮設 25件 在宅 995件 その他 86件 合計 1,795件

拠点区分	サービス区分	事業名																																		
		<p>○相談内容（10月～3月）※複数回答</p> <table border="0"> <tr><td>家族関係</td><td>69件</td></tr> <tr><td>経済面</td><td>20件</td></tr> <tr><td>居住関係（仮設）</td><td>18件</td></tr> <tr><td>居住関係（再建）</td><td>84件</td></tr> <tr><td>就労関係</td><td>19件</td></tr> <tr><td>介護・福祉関係</td><td>11件</td></tr> <tr><td>健康・医療関係</td><td>83件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>25件</td></tr> </table> <p>○他機関へのつなぎ件数（10月～3月） ※複数回答</p> <table border="0"> <tr><td>行政</td><td>35件</td></tr> <tr><td>社会福祉協議会</td><td>5件</td></tr> <tr><td>地域包括支援センター</td><td>16件</td></tr> <tr><td>介護事業所</td><td>3件</td></tr> <tr><td>民生委員・児童委員</td><td>2件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>4件</td></tr> </table> <p>○地域住民相互の交流促進を図るための取組等（10月～3月）</p> <table border="0"> <tr><td>サロン活動</td><td>47回：585人</td></tr> <tr><td>仮設住宅と地域の交流</td><td>33回：918人</td></tr> <tr><td>研修・イベント等</td><td>11回：165人</td></tr> </table>	家族関係	69件	経済面	20件	居住関係（仮設）	18件	居住関係（再建）	84件	就労関係	19件	介護・福祉関係	11件	健康・医療関係	83件	その他	25件	行政	35件	社会福祉協議会	5件	地域包括支援センター	16件	介護事業所	3件	民生委員・児童委員	2件	その他	4件	サロン活動	47回：585人	仮設住宅と地域の交流	33回：918人	研修・イベント等	11回：165人
家族関係	69件																																			
経済面	20件																																			
居住関係（仮設）	18件																																			
居住関係（再建）	84件																																			
就労関係	19件																																			
介護・福祉関係	11件																																			
健康・医療関係	83件																																			
その他	25件																																			
行政	35件																																			
社会福祉協議会	5件																																			
地域包括支援センター	16件																																			
介護事業所	3件																																			
民生委員・児童委員	2件																																			
その他	4件																																			
サロン活動	47回：585人																																			
仮設住宅と地域の交流	33回：918人																																			
研修・イベント等	11回：165人																																			
	15. 生活福祉資金貸付事業	<p>本所業務 ○県社協、各支所、福祉事務所等との連絡調整</p> <p>野村業務 ○貸付件数 0件 ○相談件数 4件</p>																																		
	16. 小口資金貸付事業	宇和業務																																		
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	<p>本所業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブ助成（市老ク連合会へ） ○身体障害者協会活動助成（市身障協会へ） ○手をつなぐ育成会助成（4地区） ○福祉協力校助成（21校） ○少年の日記念品贈呈事業 @1,500円×287人 ○母子会活動助成（市母子寡婦福祉会へ） ○民生児童委員協議会活動助成（市民協へ） ○更生保護女性会活動助成 （市更生保護女性会へ） 																																		

拠点区分	サービス区分	事業名	
			○ボランティア団体助成 22 団体
		野村業務	○給食サービスの集い 6 地区 参加人数 351 人 ○お年寄りと子供の談話室助成 3 地区 ○ふれあいいいききサロン保険加入 ○人形劇上演会の開催 1 回 140 人 ○わたしへのごほうび講座 1 回 25 人 ○復興イベント（バルーン配布） 1 回 ○児童館クリスマス会（バルーンアート） 1 回 ○子供会活動助成 3 地区 ○見守りネットワークの推進 ・研修会 3 箇所 参加人数 144 人 ・見守り対象者 160 人 ・集落員（ボランティア） 237 人
	18. 歳末たすけあい配分事業	本所業務	○施設配分 29 施設 特産品を送付 ○養護施設 義援金 32 人 支度金 3 人
		野村業務	○餅配分 207 世帯 259 人 ○低所得世帯 2 世帯 2 人 ○作業所支援 1 件 ○惣川クリスマス会 参加者 48 人
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	野村業務	○平成 31 年 3 月現在（169 人） 介護予防支援受託（14 人） ・要支援 1 3 人 ・要支援 2 11 人 第 1 号介護予防支援受託（2 人） ・事業対象 2 人 介護保険（153 人） ・要介護 1 58 人 ・要介護 2 46 人 ・要介護 3 28 人 ・要介護 4 13 人 ・要介護 5 8 人
	20. 訪問介護事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金（12 月） 43 人 介護職員 後期一時金（5 月） 43 人

拠点区分	サービス区分	事業名	
		野村業務	○平成 31 年 3 月現在 (23 人) ・要介護 1 11 人 ・要介護 2 7 人 ・要介護 3 3 人 ・要介護 4 2 人 ・要介護 5 0 人
	21. 訪問入浴介護事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12 月) 10 人 介護職員 後期一時金 (5 月) 11 人
	22. 障害福祉サービス事業	本所業務	○福祉・介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12 月) 30 人 介護職員 後期一時金 (5 月) 23 人
		野村業務	○平成 31 年 3 月現在 5 人
	23. 第 1 号訪問事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12 月) 43 人 介護職員 後期一時金 (5 月) 43 人
		野村業務	○平成 31 年 3 月現在 19 人
	24. 第 1 号通所事業	野村業務	○平成 31 年 3 月現在 61 人
	25. 地域生活支援事業	野村業務	○平成 31 年 3 月現在 0 人
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業		

介護職員等の処遇改善については、処遇改善加算対象外の介護職員等についても処遇改善加算事業に準じて改善を図った。

○ 処遇改善加算対象外の状況

・訪問入浴介護	前期一時金 (12 月)	3 人
	前期一時金 (5 月)	3 人
・第 1 号通所	前期一時金 (12 月)	4 人
	前期一時金 (5 月)	4 人

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会への参加
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 6件 ○預託金額 113,000円 ○活用事業 (352,136円) ・高齢者生活支援事業 160,000円 ・給食サービス事業 192,136円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○明浜支所だよりの発行 (年2回)
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業 ・高齢者サロン 7箇所 ・子育てサロン 1箇所 ・サロン研修会 参加者数43人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績 (3月末現在) ・利用世帯数 163世帯 ・利用者数 203人 (内訳) □独居世帯 (75歳以上) ・利用世帯数 114世帯 ・利用者数 114人 □高齢者世帯 (75歳以上) ・利用世帯数 38世帯 ・利用者数 76人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 3世帯 ・利用者数 3人 □その他 (必要と思われる方) ・利用世帯数 8世帯 ・利用者数 10人
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与 (短期間) 4件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス 年12回 延べ1,107食

拠点区分	サービス区分	事業名
	9. ボランティア活動 推進事業	○アロマセラピー講座 中学生 17人 ○福祉協力校 2校 ○ボランティア活動保険加入促進 84人 ○ボランティア団体助成 5団体
	10. 生活支援体制整備 事業	○生活支援コーディネーターの設置 (第2層)
	11. 福祉等総合相談事業	○法律相談 年4回 相談件数 7件 ○心配ごと相談 年8回 相談件数 1件 ○相談員研修会 参加者数 18人
	12. 福祉サービス利用 援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセン ター事業	
	15. 生活福祉資金貸付 事業	○貸付件数 3件 ○相談件数 3件
	16. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	○坊ちゃん劇場・「出前授業」 保育園年長児 16人 小・中学生 149人 ○おはなし会 親子 36人 ○音楽療法 ・俵津保育所 参加者数 56人 ・高山保育所 参加者数 35人
	18. 歳末たすけあい配分 事業	○歳末たすけあい配分 ・高山保育所クリスマス会 参加者数 35人 ・俵津保育所 餅つき会 参加者数 65人
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	
	20. 訪問介護事業	
	21. 訪問入浴介護事業	
	22. 障害福祉サービス 事業	
	23. 第1号訪問事業	
	24. 第1号通所事業	
	25. 地域生活支援事業	
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	○紙おむつ販売 年間利用者数 23人 販売回数 104回

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会への参加
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 56件 (金銭預託：54件、物品預託：2件) ○預託金額 1,562,061円 ○活用事業 (2,055,699円) ・高齢者生活支援事業 855,699円 ・給食サービス事業 1,200,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○宇和支所だよりの発行 (年4回)
	5. 地区社協育成事業	○地区社協育成助成 ・7地区社協 (一般会費の約50%を助成) ○地区社協懇談会 1箇所
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいきいきサロン事業 ・高齢者サロン 36箇所 ・子育てサロン 1箇所 ・障害者サロン 1箇所 ・サロン交流研修会 参加者数 58人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績 (3月末現在) ・利用世帯数 686世帯 ・利用者数 882人 (内訳) □独居世帯 (75歳以上) ・利用世帯数 452世帯 ・利用者数 452人 □高齢者世帯 (75歳以上) ・利用世帯数 191世帯 ・利用者数 383人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 16世帯 ・利用者数 16人 □その他 (必要と思われる方) ・利用世帯数 27世帯 ・利用者数 31人

平成 30 年度 事業報告項目

宇和支所

拠点区分	サービス区分	事業名
	7. 家族介護支援事業	○「介護者の集い」の開催 年1回 11人 ○車いすの貸与（短期間） 24件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス（7地区で実施） ・各地区年12回 配食数延べ 7,167食 ・給食ボランティア（調理）延べ 376人 ・配食は民生児童委員
	9. ボランティア活動 推進事業	○福祉教育推進事業 ・小学校 2回開催・参加者数延べ 46人 ・中学校 7回開催・参加者数延べ 1,190人
	10. 生活支援体制整備事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層）
	11. 福祉等総合相談事業	○法律相談所 年6回 相談件数 29件 ○心配ごと相談所 年24回 相談件数 16件 ○登記相談 年6回 相談件数 18件 ○一般相談 7件 ○相談事業の広報
	12. 福祉サービス利用 援助事業	○平成31年3月現在利用者数 6人 直接支援 2人 相談件数 11件 （問合せ7件、初回相談3件、相談援助1件）
	13. 法人後見事業	平成31年3月現在 受任件数0件 運営委員会開催数 0回 ・受任審査会 0回 ・定期会（指導・監督・助言） 0回
	14. 地域ささえあいセンター事業 【宇和サテライトエリア】	○支援対象世帯数（平成31年3月末現在） 応急仮設 30世帯 みなし仮設 30世帯 在宅 185世帯 その他 9世帯 合計 254世帯 ○支援件数（10月～3月） 応急仮設 244件 みなし仮設 91件 在宅 652件 その他 54件 合計 1,041件

拠点区分	サービス区分	事業名																										
		<p>○相談内容（10月～3月） ※複数回答</p> <table border="0"> <tr><td>経済面</td><td>3件</td></tr> <tr><td>居住関係(仮設)</td><td>4件</td></tr> <tr><td>居住関係(再建)</td><td>7件</td></tr> <tr><td>介護・福祉関係</td><td>7件</td></tr> <tr><td>健康・医療関係</td><td>3件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>66件</td></tr> </table> <p>○他機関へのつなぎ件数（10月～3月）※複数回答</p> <table border="0"> <tr><td>行政</td><td>7件</td></tr> <tr><td>社会福祉協議会</td><td>10件</td></tr> <tr><td>地域包括支援センター</td><td>5件</td></tr> <tr><td>介護事業所</td><td>2件</td></tr> </table> <p>○地域住民相互の交流促進を図るための取組等 (10月～3月)</p> <table border="0"> <tr><td>サロン活動</td><td>22回：107人</td></tr> <tr><td>仮設住宅等と地域の交流</td><td>10回：160人</td></tr> <tr><td>研修・イベント等</td><td>9回：64人</td></tr> </table>	経済面	3件	居住関係(仮設)	4件	居住関係(再建)	7件	介護・福祉関係	7件	健康・医療関係	3件	その他	66件	行政	7件	社会福祉協議会	10件	地域包括支援センター	5件	介護事業所	2件	サロン活動	22回：107人	仮設住宅等と地域の交流	10回：160人	研修・イベント等	9回：64人
経済面	3件																											
居住関係(仮設)	4件																											
居住関係(再建)	7件																											
介護・福祉関係	7件																											
健康・医療関係	3件																											
その他	66件																											
行政	7件																											
社会福祉協議会	10件																											
地域包括支援センター	5件																											
介護事業所	2件																											
サロン活動	22回：107人																											
仮設住宅等と地域の交流	10回：160人																											
研修・イベント等	9回：64人																											
	15. 生活福祉資金貸付事業	<p>○貸付件数 3件</p> <p>○相談件数 7件</p>																										
	16. 小口資金貸付事業	<p>○貸付件数 5件</p>																										
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	<p>○老人福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい暑中見舞い事業 <table border="0"> <tr><td>一人暮らし高齢者</td><td>417人</td></tr> </table> ・一人暮らし高齢者激励会 274人 ・地域の縁側事業 1箇所 <p>○障害児・者福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おイネ号」で旅をしよう！ 虹の森公園おさかな館とぼっぼ温泉トマト狩りの旅（松野町・鬼北町） 障害者、高齢者、ボランティア 52人 <p>○児童・青少年福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みおたのしみ映画祭 「I Love スヌーピー」 約200人 ・青少年健全育成事業（地区社協等） 7箇所 ・夏休み親子ふれあい劇場（影絵） 「シルエットファンタジー」 「はらぺこプンタ」 185人 	一人暮らし高齢者	417人																								
一人暮らし高齢者	417人																											

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>○母子・父子福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ヨガ教室 4回開催 参加者数延べ178人 ・私へのごほうび講座 3回開催 参加者数延べ 60人 <p>○福祉育成・援助活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動啓発 <p>○ボランティア活動育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険の加入促進 加入者数433人 ・朗読（読み聞かせ）ボランティア養成講座 入門編 受講生15人 修了者数13人 ・朗読ボランティア研修会 現任研修 年間3回開催 参加者数延べ54人 ・傾聴ボランティア養成講座 入門編 受講生18人 修了者数13人 ・福祉ふれあい体験ボランティア 実人数78人 参加者数延べ350人
4. 居宅介護等事業	18. 歳末たすけあい配分事業	<ul style="list-style-type: none"> ○重度心身障害児施設 4人 ○宇和地区作業所等助成 2施設 ○低所得世帯 26世帯・46人 ○在宅介護者 54人 ○交通災害遺児 0人 ○在宅心身障害児 7人
	19. 居宅介護支援事業	<p>○平成31年3月現在（259人）</p> <p>介護予防支援受託（23人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1 5人 ・要支援2 18人 <p>第1号総合事業受託（2人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者 2人 <p>介護保険（234人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護1 91人 ・要介護2 61人 ・要介護3 32人 ・要介護4 35人 ・要介護5 15人
	20. 訪問介護事業	<p>○平成31年3月現在（68人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護1 28人 ・要介護2 21人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<ul style="list-style-type: none"> ・要介護 3 8人 ・要介護 4 5人 ・要介護 5 6人
	2 1. 訪問入浴介護事業	○平成 31 年 3 月現在 (20人) <ul style="list-style-type: none"> ・要介護 1 1人 ・要介護 2 0人 ・要介護 3 1人 ・要介護 4 6人 ・要介護 5 12人
	2 2. 障害福祉サービス事業	○平成 31 年 3 月現在 12人
	2 3. 第 1 号訪問事業	○平成 31 年 3 月現在 80人
	2 4. 第 1 号通所事業	
	2 5. 地域生活支援事業	○平成 31 年 3 月現在 0人
5. 介護用品販売事業	2 6. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会への参加
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 37件 ○預託金額 2,460,000円 ○活用事業(1,050,506円) ・高齢者生活支援事業 267,071円 ・給食サービス事業 783,435円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○城川支所だよりの発行(年3回)
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業 ・高齢者サロン 11箇所 ・サロン交流研修会の開催 参加者 29人 「楽しく学ぼう、遊びリテーション」 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(3月末現在) ・利用世帯数 179世帯 ・利用者数 220人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 120世帯 ・利用者数 120人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 44世帯 ・利用者数 85人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 10世帯 ・利用者数 10人 □その他(必要と思われる方) ・利用世帯数 5世帯 ・利用者数 5人 ○生きがいと健康づくりクロッケー大会の開催 ・7月豪雨災害のため中止

拠点区分	サービス区分	事業名
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与（短期間） 3件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス（毎月1回） ・実施回数 11回 ※7月は災害のため中止 ・延べ配食数 2,078食 ・対象者数 230人 ・調理ボランティア数 75人
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア活動保険への加入促進 ・ボランティア関係者 111人 ・地域住民 希望者 1,262人 ○夏休みチャレンジ☆ボランティア ・7月豪雨災害のため中止 ○福祉体験教室 ・対象者 城川中学校 3年生 28人 ・内容 講座と福祉体験 ・協力機関 地域包括支援センター 三泰商事㈱ ○ボランティア交流研修会 ・参加者：ボランティア登録者 17人 ・内容：防災教室「過去の災害をふりかえって」
	10. 生活支援体制整備 事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層） ○ポイント制ボランティアの推進 ○介護予防サポーター養成講座（市と協働） （災害のため中止）
	11. 福祉等総合相談事業	○法律相談 年6回 相談件数 15件 ○心配ごと相談 年5回 相談件数 2件 ※豪雨災害により1回中止
	12. 福祉サービス利用 援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセン ター事業	
	15. 生活福祉資金貸付 事業	○貸付件数 2件 ○相談件数 2件
	16. 小口資金貸付事業	

平成 30 年度 事業報告項目

城川支所

拠点区分	サービス区分	事業名
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	○紙おむつの支給 年3回 利用者数 37人
	18. 歳末たすけあい配分事業	○歳末たすけあい義援金の配布 ・在宅生活者 53人
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	
	20. 訪問介護事業	○平成31年3月現在(25人) ・要介護1 12人 ・要介護2 8人 ・要介護3 2人 ・要介護4 2人 ・要介護5 1人
	21. 訪問入浴介護事業	
	22. 障害福祉サービス事業	○平成31年3月現在 0人
	23. 第1号訪問事業	○平成31年3月現在 26人
	24. 第1号通所事業	○平成31年3月現在 43人
	25. 地域生活支援事業	○平成31年3月現在 0人
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会の参加
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 4件 ○預託金額 529,372円 ○活用事業(168,000円) ・高齢者生活支援事業 168,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○支所だよりの発行(年2回) 各3,100部
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業(13サロン) ・高齢者サロン 11箇所 ・子育てサロン 2箇所 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(3月末現在) ・利用世帯数 215世帯 ・利用者数 252人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 164世帯 ・利用者数 164人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 35世帯 ・利用者数 70人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 3世帯 ・利用者数 3人 □その他(必要と思われる方) ・利用世帯数 13世帯 ・利用者数 15人
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与(短期間) 14件
	8. 給食サービス事業	○独居世帯給食サービス(80歳以上) 年3回 1回当たり 約233食 ○高齢者世帯給食サービス(80歳以上)

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>年3回 1回当たり 約177食 ○独居世帯ヤクルト配布（80歳以上）</p> <p>年2回 1回当たり 234食 ○高齢者世帯ヤクルト（80歳以上）</p> <p>年2回 1回当たり 171食</p>
	9. ボランティア活動 推進事業	<p>○ボランティア登録数 個人：0人 団体：9団体 181人</p> <p>○ボランティア活動保険加入促進 161人</p> <p>○ふれあいボランティア 9人</p>
	10. 生活支援体制整備 事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層）
	11. 福祉等総合相談事業	<p>○法律相談所 年6回 相談件数 25件</p> <p>○心配ごと相談所 年12回 相談件数 8件</p>
	12. 福祉サービス利用 援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセン ター事業	
	15. 生活福祉資金貸付 事業	<p>○貸付件数 0件</p> <p>○相談件数 3件</p>
	16. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	<p>○少年式記章 39人</p> <p>○笑いヨガ体験講座 ・参加者：24人 ・内容：笑いヨガ体操</p>
	18. 歳末たすけあい配分 事業	<p>○在宅対象者配分 53世帯 117人</p> <p>○長期施設入所者配分 3施設 8人</p> <p>○独居・高齢世帯お餅配布 294人</p>
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	
	20. 訪問介護事業	
	21. 訪問入浴介護事業	
	22. 障害福祉サービス 事業	
	23. 第1号訪問事業	
	24. 第1号通所事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
	25. 地域生活支援事業	
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	
その他	災害時対応訓練等事業	◎防災講座&非常食試食会（防災頭巾づくり） ○長早地区 日時：7月9日（月） 11:00～13:00 会場：北公民館長早分館 参加者：12人

平成30年度 西予市地域包括支援センター 事業報告

I 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳あるその人らしい生活を送れるように支援することを目標とする。そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源等の地域包括ネットワークを構築し、できる限り要介護状態にならないように、包括的・継続的に支援する。

II 長期目標

地域包括ケアシステムの推進に向けて保健・医療・福祉の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの構築に努める。

III 短期目標

- ・個別地域ケア会議に基づいた自立支援に資するケアマネジメントの実践
- ・多職種連携体制の強化による地域課題抽出
- ・地域社会資源との連携及び元気な高齢者づくりの推進

IV 事業実施状況

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

《目的》 高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築する。

高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。

《実施内容》

① 地域での高齢者状況の事態把握

早期対応の必要な高齢者を把握するために、民生児童委員より情報提供を受け、その情報をもとに該当者を取り巻く関係機関から情報収集を行い、訪問等で迅速に対応し、民生児童委員と情報共有を図った。

地区	民生児童委員協議会出席回数 (地区により開催回数は異なる)	情報提供数 (来所・電話等経由)
宇和	定例会 10回・総会	37
明浜	定例会 5回	7
野村	支部長会 4回・各支部会12回・総会	37
城川	定例会 4回・総会	2
三瓶	定例会 7回	2

またサロン等高齢者が参加する集いの場において対象となる方の把握に努めた。

② サロン等集いの場において健康相談対応と健康教室開催

サロン24か所 347人 社協事業その他の健康相談 14回 252人

地区	サロンでの健康相談・教室等	他機関の事業との共催
宇和	8か所 延べ107人	
明浜	0か所	
野村	14か所 延べ211人	○社協事業 ・見守りネットワーク研修会 ・給食サービスの集い ・サロンリーダー研修会 11回 延べ185人
城川	1か所 29人	○社協事業 ・サロンリーダー研修会 1回 29人
三瓶	0か所	○生活福祉課との共催 (ひだまりクラブ) 2回 延べ38人

③ 初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援

民生児童委員、見守りネットワーク推進員、区長、介護予防サポーター、地区住民等からの情報や本人及び家族、または医療機関の地域医療連携室、居宅支援事業所の介護支援専門員や福祉事業関係者からの相談や面談及び戸別訪問等の実施

ア 個別の相談件数（延件数）

相談内容	件数	前年度比
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	1,368	9%増

イ 介護・福祉・認知症出張相談所開設による相談件数

地区	件数	開催
明浜	0	8回/年
宇和	2	毎月
野村	2	毎月
城川	4	奇数月
三瓶	0	奇数月
合計	8	(件)

④ 地域におけるネットワークの構築

内容：地域住民へ地域包括支援センター及び介護予防事業の啓発・PR

PRの方法：◆民生児童委員協議会・老人クラブ・サロン・介護予防サポーター養成

- 講座・見守りネットワークづくり研修会等において顔の見える関係づくり
- ◆市広報誌、社協便りで紹介
 - ◆CATVや新聞等メディアによる広報
 - ◆福祉体験教室の開催

対象	内容	実施地区
小学生	高齢者疑似体験・車いす介助等体験実習	宇和（中川小）
中学生	高齢者疑似体験・車いす介助等体験実習	宇和（宇和中）城川（城川中）

⑤ 西日本豪雨災害の被災者支援

平成 30 年 7 月 7 日発生

時期	実施内容	備考
7月7日～10日	① 高齢者安否確認 ② 避難所運営支援 ③ 被災者ニーズ調査 ④ 被災者の入居施設受け入れ等の相談対応	ニーズ調査 約 450 世帯 (社協と共同)
7月11日～	災害ボランティアセンター運営補助(社協が運営) 安否確認を兼ねて個別訪問の実施 支所は本所業務を補填しながら通常業務を行い、シフトで災害支援実施	虐待対応 1 件 (相談支援で対応) 他機関との連携会議の実施
7月18日～10月8日	① 県社会福祉士会の後方支援により災害ニーズ調査 ② 被災者個別支援	県社会福祉士会との会議 会議数 10 回
9月5日～10月4日	生活福祉課と個別ケース会議 (野村地区のみ) 会議数 6 回 ケース検討件数 914 人	支援の優先順位を明確にして支援体制の構築を行った
10月1日～3月31日	ささえあいセンター設置(社協) ① 個別被災者支援 ② ケース会議参加 ③ 運営会議、連携会議参加	個別訪問及び相談延べ件数 65 件

被災者支援の活動に関する他機関からの情報提供依頼

○千葉県柏市社会福祉協議会の視察受け入れ

平成 31 年 1 月 31 日 3 人来所

○四国内大学ヒアリングにより情報提供依頼受け入れ

○愛媛大学地域医療連携ネットワーク研修会にて講演

平成 31 年 2 月 16 日「西日本豪雨災害における地域包括ケアについて」

(2) 権利擁護事業

《目的》地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的・継続的な視点で行う。

《実施内容》

① 高齢者虐待への対応と老人福祉施設等への措置の支援（高齢者虐待防止法及び老人福祉法）

ア 虐待防止及び早期発見早期対応のためのネットワークの構築

○虐待事例について行政と連携協働し、他機関と連携を図り対応実施

虐待対応件数	25件
--------	-----

イ チラシやリーフレット等を活用し、高齢者虐待防止に関する広報・啓発

② 困難事例への対応（セルフネグレクトの防止及び対応）

ア 本人の状態（心身・経済など）、家庭環境などにより関連機関や多職種連携での対応が必要な事例について、各専門機関と情報を共有した個別支援

イ 多職種による個別地域ケア会議を開催し、情報共有・各機関との支援体制を構築

ウ 法テラス弁護士による講座や困難事例に対する事例検討会やホットライン使用により助言を得た。

エ 権利擁護関係者勉強会（事例検討会）の開催

開催数 6回/年

参加者：法テラス弁護士、行政・医療・保健・福祉・介護の関係者等

	テーマ	課題（主に地域課題）
1回目	経済的虐待・個人情報取り扱い	地域から孤立している家庭では、認知症等により金銭管理が難しい高齢者等弱者に対して、経済的虐待のリスクが高まる。 ① 潜在化 ② 支援者による虐待の捉え方の違いがあり報告・対応が遅れやすい。
2	金銭管理困難・身寄りなし	
3	成年後見制度	
4	金銭管理困難・生活困窮	
5	未成年後見制度・ネグレクト	
6	クレーマー対応	

③ 成年後見制度の活用推進

○相談のあった事例に対する必要に応じた関係機関との連携による支援

○成年後見制度普及啓発

成年後見制度利用支援件数	28件
--------------	-----

④ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の啓発

○相談のあった事例に対する必要に応じた関係機関との連携による支援

日常生活自立支援利用支援件数	0件
----------------	----

⑤ 消費者被害の防止

（高齢者虐待防止法での位置づけ及び改正消費者安全法での情報共有）

○消費生活センターとの情報共有

消費者被害対応件数	2件
○消費生活センターによる講座	
三瓶周木地区老人クラブひだまりクラブ	20人

- ⑥ 「身寄りのない人の支援シート」の作成と試験運用
平成 30～31 年度は試験運用期間

⑦ 権利擁護研修会の開催

開催日：平成 30 年 9 月 13 日

講演「成年後見制度について」 講師：愛媛法テラス事務所弁護士

対象者：民生児童委員・行政・医療・保健・福祉・介護の関係者：85 人

開催日：平成 30 年 12 月 10 日

講話「虐待に関する研修」 講師：包括社会福祉士

対象者：つくし苑職員

開催日：平成 31 年 3 月 26 日

講話「高齢者虐待・権利擁護について」 講師：包括保健師

※認知症サポーター養成講座において実施

対象者：野城総合福祉協会新人研修

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

《目的》高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関、在宅と施設の連携等、地域における多職種相互の協働等による連携強化や体制づくりを行う。また、一人ひとりの高齢者の状況や変化に応じたケアマネジメントが重要であるため、自立した生活が維持するよう包括的かつ継続的な支援ができるよう、個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。

《実施内容》

① ICTクラウドシステム「kintone」事業の推進

ア 事業概要：地域包括ケアシステム構築に向けてクラウドを活用し、多職種連携、顔の見える関係づくりを行うことができるシステム運用を目指す。

ユーザー間での意見交換や各機関からの情報提供がリアルタイムに、スピーディーに行える。

介護保険サービス(短期入所の空き情報等)の情報がいつでも検索できる。

イ ユーザー数：265 ユーザー (平成 31 年 3 月末現在)

ウ 参加団体：西予市・西予警察署・西予市消防署・西予市医師会・認知症疾患医療センター・西予市認知症サポート医・西予市民病院及び西予市立野村病院地域医療連携室・西予市社会福祉協議会・西予市内居宅支援事業所介護支援専門員・西予市内介護保険サービス提供事業所、調剤薬局等、地域包括ケアシステムを担う関係機関

② 介護支援専門員の質向上とネットワークの構築・活用

ア 西予市主任介護支援専門員連絡会の開催 (研修及び情報伝達)

開催回数 (5 回/隔月)

イ 主任介護支援専門員地域リーダー養成研修の参加 参加回数（6回）
内容：管内市町代表主任介護支援専門員グループでの演習と研究

ウ 愛媛県介護支援専門員連絡会において講演
日時：平成30年12月15日 参加者数150人
演題：「西日本豪雨災害における地域包括ケア」

エ 西予市介護支援専門員連絡会の開催
開催回数（6回/隔月）
内容：地域包括ケアシステム構築について・給付適正化についてグループワーク
在宅医療・介護連携推進について

オ 介護支援専門員対象の研修会の開催
○特別講義と演習 講師：（株）アクティブサポート 藤田健次氏
開催日と演題：平成30年8月23日
「アセスメントからケアプラン作成の過程について」
平成31年2月12日
「サービス事業所の理解をケアマネジメントに活かす」
○講演会 講師：NPO法人こころ塾 菅奈奈美氏
開催日と演題：平成30年10月15日
「高齢者の介護福祉従事者におけるゲートキーパーの役割
～気づきから～」

③ 主任介護支援専門員による介護支援専門員への日常的個別指導・相談

○支援困難事例等への指導・助言

サービス担当者会議への出席	251回
委託プランの評価	380件
ロングショート計画確認	2件

○長寿介護課と協同で、給付適正化事業としてケアプラン作成指導を通し、
介護支援専門員へのケアマネジメント指導

西予市内居宅支援事業所において介護ケアプラン作成指導	15か所
包括内介護予防プラン作成指導	43件

④ 関係機関との連携づくり

ア 介護保険事業所連絡会 月1回（宇和・野村）

イ 居宅支援事業所における事例検討会（法人間事例検討会含む）参加（11回）

ウ 「高齢者サービスガイドブック」の作成

キントーンにて全ユーザーへ情報提供

冊子にて西予市医師会員・西予市民生児童委員・その他機関へ配布 300部数

- ⑤ 地域のインフォーマルサービスとの連携づくり
 ○西予市内調剤薬局連絡会（仮称）において講座
 開催日：平成31年 3月27日
 内容：「ICTを活用した地域包括ケアネットワークの構築」について
- ⑥ 自立支援を目的とした地域ケア個別会議の開催
 期間：平成30年11月～31年3月
 開催日時：第4木曜日 15：00～17：00
 事例対象者：自立支援を目的とした総合事業対象者及び要支援認定者
 参加者（助言者）：薬剤師 保健師 栄養士 歯科衛生士 作業療法士
 福祉用具専門相談員 訪問看護事業所（看護師） 等
 実施件数：9事例

（4）認知症総合支援事業

（目的）認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に早期にかかわる認知症初期集中支援チームの配置や、医療機関・介護サービス及び地域の支援機関との連携を深めるため、認知症地域支援推進員を中心とした医療・介護等の連携強化による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

（実施内容）

① 認知症初期集中推進事業

ア 認知症初期集中支援チームの体制強化

- ・ 俗称「おれんじ支援チーム」としてチラシの作成やチームについてのPR
- ・ 西予市医師会の協力を得て、認知症サポート医4名体制（宇和・明浜・三瓶地区各1名、野村城川地区において1名）
- ・ チーム数は1つ、包括内チーム員は5名体制（宇和支所：社会福祉士2名看護師1名、本所：保健師1名介護支援専門員1名）
- ・ おれんじ支援チーム活動実績 7件

訪問支援対象者の把握、情報収集及び観察・評価、初回訪問における初期集中支援の実施

地区	件数	備考
宇和	4	
明浜	0	
野村	1	サポート医の訪問あり
城川	1	
三瓶	1	

・チーム員会議 7件

	件数	場所
7月	2	各サポート医の医療機関にて開催
12月	3	
2月	2	

- ・おれんじ支援チーム作業部会設置により、支援チームの円滑な運用のため事例検討会を兼ね、認知症についての課題抽出や施策・事業の検討（毎月開催）

チーム員の課題	① 同意を得られない場合の対応 ② かかりつけ医とサポート医の関係（情報提供の方法） ③ チームの周知不足
地域課題	① 運転免許証の自主返納がうまくいかない ② 困難事例 <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の既往があるケースが認知症になる場合が増えている ・家族介護力が乏しいケースが多い

- ・認知症総合支援事業作業部会の開催（1回/2か月）

検討項目と結果	① 認知症 SOS ネットワーク模擬訓練について⇒豪雨災害にて 31 年度事業へ延期 ② 認知症サポーター養成講座について⇒キッズサポーター養成を実施 ③ 認知症ケアパスについて⇒ダイジェスト版の活用 ④ 認知症 SOS 登録事業について⇒事業の評価が必要
抽出された地域課題	① 徘徊のための対策が必要（徘徊 SOS 高齢者等登録制度の見直し） ② 運転免許返納について警察署との連携が必須（第 1 層会議認知症対策検討会に警察署招致依頼）

- ・長寿介護課による認知症対策検討会の開催（2回）

平成 30 年 10 月 12 日、平成 31 年 3 月 8 日

② 認知症地域支援・ケア向上事業

ア 認知症地域支援推進員の配置

- ・包括内は昨年度同様 2 名体制

イ 地域における認知症の人を支援する関係者の連携を図る

- ・宇和町中川地区での取組み

- ◆「中川地区高齢者支援を考える会」を設立し、認知症問題やその現状等について理解を深め、自らのこととして考えていくことの意識統一を図り、認知症 SOS ネットワーク模擬訓練の実施等について検討・企画

○ 地区分析と住民代表・公民館との会議（2回）

日時：平成 30 年 5 月 11 日、6 月 14 日

内容：西予市の高齢化の現状と認知症対策事業について説明

⇒豪雨災害で平成 31 年度へ事業延期

ウ 地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制の構築

- ・認知症サポーター養成講座の開催（回数：3回、サポーター数：192人）
- ・認知症地域支援推進員と協働で市施策の普及

認知症ケアパス（あんしんノート）を住民へ周知

認知症ケアパスのダイジェスト版を普及

- ・認知症カフェの開催

○城川地区において介護福祉認知症相談の日に開催（試験的に実施）

介護者や当事者同士がお茶を飲みながら相談や雑談のできる場となり、認知症等に関する情報提供を行う機会となる。また、介護予防サポーターの活動の場として展開していく。

開催日時	参加者数（人）
11月15日	5
1月15日	1
3月15日	3

○宇和地区において認知症カフェ「ひだまりの集い」（市と共同）

平成30年4月・5月・6月・11月 計4回参加

(5) 在宅医療・介護連携推進事業

《目的》医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。

《実施内容》

① 地域資源の把握

② 課題の抽出と対応策の検討

③ 切れ目のない提供体制の構築推進

退院支援ルールへの運用

（八幡浜保健所が主導で管内医療機関と包括支援センター、主任介護支援専門員の事業所を作業部会とし、退院調整に関する連携体制を構築）

④ 情報共有の支援

- ・市立病院カンファレンス（2病院、各1回/週）に出席し、入院患者の退院支援及び転院や施設入所の支援

⑤ 第1層地域ケア推進会議「医療介護連携会議」の作業部会の位置づけで市立病院医師及び看護部・地域連携室との連携会議

- ・市立病院にて隔月に会議を開催

	市立野村病院	西予市民病院
1	平成30年5月29日	平成30年5月24日
2	平成30年9月27日	平成30年9月27日
3	平成30年12月7日	平成30年11月22日

4	平成 31 年 1 月 25 日	平成 30 年 12 月 12 日
5	平成 31 年 3 月 13 日	平成 31 年 1 月 31 日
6	—	平成 31 年 3 月 14 日

⑥ 有床診療所・医療法人医療機関との連携会議

医療機関を訪問し、退院支援ルールや医療介護連携シートの周知を実施
公立病院以外の医療機関と、在宅支援やかかりつけ医についての会議を開催

	開催日
1	平成 30 年 10 月 29 日
2	平成 30 年 10 月 30 日
3	平成 30 年 10 月 31 日

⑦ 第 1 層地域ケア推進会議「医療介護連携会議」の開催

	開催日
1	平成 30 年 11 月 21 日
2	平成 31 年 3 月 7 日

⑧ 「市民病院」スマイルフェスタと共催

主に宇和周辺の医療圏域で、高齢者が「病気になっても在宅医療を受けながら在宅生活が可能であることを理解し、必要時に医療や介護サービスを選択できる能力を身につける」ことや「救急医療のかかり方」等を周知することを目的とし開催を予定していたが、豪雨災害により平成 31 年度へ延期となる。

⑨ 実習生受け入れ

- 実習期間：平成 30 年 8 月 8 日 看護師 1 人「訪問看護ステップ 1」
⇒豪雨災害のため中止
- 実習期間：平成 31 年 3 月 4～8 日
愛媛大学医学部医学科・看護学科 20 人
愛媛シームレス地域医療人育成プログラム「在宅生活支援実習」

⑩ 研修会で講話

- ・平成 30 年 5 月 29 日、12 月 10 日
介護支援専門員連絡会
「退院支援ルールと連携シートの活用について」
- ・平成 31 年 1 月 24 日 介護予防サポーター養成講座
「エンディングノートの作成について」
- ・平成 31 年 2 月 16 日 愛媛看護協会
「退院支援ルールの活用について」

2 介護予防日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業（第1号介護予防支援事業）

（目的）事業対象者等に対し、自立に向けた意識付けができるような、総合事業によるサービス等が適切に提供できるケアマネジメントを行い、心身の状態の維持・改善を目指すように支援する。

（実施内容）

① 事業対象者のケアマネジメント

・基準緩和 A デイサービス利用者・・・実施件数： 998 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
給付件数(件)	92	96	94	99	40	40	89	87	89	88	91	93	998
うち、初回件数(件)	1	8	1	1	2	0	2	0	1	3	1	2	22
委託件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・事業対象者・・・実施件数： 3,904 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施件数総数(件)	327	341	335	325	318	314	320	325	328	330	324	317	3,904
うち、指定介護予防支援事業所実施分(件)	242	242	238	232	226	221	227	231	235	238	232	224	2,788
うち、委託実施分(件)	85	99	97	93	92	93	93	94	93	92	92	93	1,116
うち、市内事業所(件)	85	97	95	91	90	89	90	91	89	88	90	90	1,085
うち、県内事業所(件)	0	2	2	2	2	4	3	3	4	4	2	2	30
うち、県外事業所(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 新総合事業のサービスに関してプランの評価

ウ プラン勉強会や検討会の開催

② 生活支援サービスの基盤整備事業

生活支援コーディネータと共に医療・介護のサービス提供のみならず、地域住民、ボランティア、地区組織、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図った。

ア サービスの担い手等資源開発

介護予防サポーター養成講座の開催（市・社協と共同）

宇和地区：平成 31 年 1 月～3 月 14 日（5 回）

イ ネットワークの構築

介護予防サポーターステップアップ研修（市と社協と共同）

宇和地区平成 29 年度修了生：1 回開催

野村地区平成 28、29 年度修了生：3 回開催

城川地区平成 29 年度修了生：4 回開催

ウ ニーズと取組のマッチング

